



## ● 年末年始の開館 ※休館日にご注意!

日	月	火	水	木	金	土
12月	通常	通常	祝日	17時	大掃除	
	21	22	23	24	25	26
	17時					
27	28	29	30	31	1	2
		17時	17時	通常	通常	
3	4	5	6	7	8	1月

## ◆ Contents ◆

### <トピックス>

- ・年末年始の開館
- ・成果発表・展示コーナーあります
- ・小説&DVD アンケートの結果

### <お薦め図書> 心地よく暮らす

### <野村課長(6)> 分類出来なかった本

### <シネマ&ブック(6)> 「真保裕一」

USBメモリを忘れないで!



12月は、2階展示コーナーで「教育者ラフカディオ・ハーン」のパネル展示を行います。

## ● 成果発表・展示コーナーあります

ゼミなどの学習成果の発表や、資料展示の場として、図書館の展示スペースを提供します。

### ■ 1階・・玄関入ってすぐ右手

大型展示ケース 2台  
パネル板(90×180cm) 2枚程度

### ■ 2階・・吹き抜け南側

小型展示ケース 2台  
パネル板 4枚程度

展示グッズや方法などについて、図書館職員が相談にのります。いっしょに素敵な展示をしましょう。希望があれば、カウンターへ申し込んでください。

学生生活推進会(学推会)から、毎年学生用図書を寄附していただいています。

今、読みたい小説は? ということで11月にアンケートを実施し、次の本とDVDを揃えることにしました。

## 「島大生は、こんな本が読みたい」アンケートから

Blue / 中村佑介	いっちゃん・ころころ / 畠中恵	白い紙 / シリン・ネザマフィ
ヘヴン / 川上未映子	死神の精度 / 伊坂幸太郎	天使と悪魔(DVD)
のぼうの城 / 和田竜	ダブル・ファンタジー / 村山由佳	奇蹟の輝き(DVD)
出星前夜 / 飯嶋和一	イエスの涙 / ピーター・シャビエル	おくりびと(DVD)
神様のカルテ / 夏川草介	まほろ駅前番外地 / 三浦しをん	レッドクリフ(DVD)
白い紙 / シリン・ネザマフィ	ドリームバスター / 宮部みゆき	
傭兵の誇り / 高部正樹	死者のための音楽 / 山白朝子	
学問 / 山田詠美	精神分析を受けに来た神の話 / マイケル・アダムス	
魔女の宅急便 / 角野栄子	オリバー・ツイスト / チャールズ・ディケンズ	
くまちゃん / 角田光代	チギレグモノ、ソラノシタ / 石井裕之	
製鉄天使 / 桜庭一樹	雪舟応援団 / 赤瀬川原平 山下裕二	
6teen / 石田衣良	ドラゴンライダー / クリストファー・パオリーニ	

## <お薦め図書>

### 『心地よく暮らすための素敵な大人のひと言』 ハ坂裕子著

「ちょっとおたずねします…」先日、駅で年配の女性に呼び止められました。目的のバス乗り場を伝え、「どうもご親切に」と別れるまでの数十秒のやり取りでしたが、その方の丁寧な言葉づかいに、ふんわり暖かくなるような余韻が続きました。

日本語には、同じ意味でも表現次第で話している人の印象をがらりと変えてしまう不思議な力があります。「どういたしまして」「お気づかいなく」「行き届きませんで」「お互いさまで」「お待ちしております」など、本書のフレーズはどれもとても身近なようで、あまり口にしていないことに気づかされます。

学生のみなさんは、会社訪問やバイトなどの場面で、正確な敬語を使いこなす必要性を感じていることでしょう。身構えないで、まず普段の生活の中で『できるだけ、ていねいに…自然に…素直に話す』ことを心にとめて会話するようにしてみると、やがて相手に心地よさを感じさせるような、自身の魅力になっていくことでしょう。(F)

【809.2/Y61 2 新館1階閲覧室】※現在は「ブック★コンパス」にあります。



## <野村課長のワンポイント(6)>

### 分類出来なかった本の行き先

図書館は、どんな本でも000～999のどれかの分類記号を付けようとするのですが、何年に一度か、どうしても分類出来ない本が出現します。そんなとき、図書館の人はどうするのでしょうか。

分類がヨク分からないというので、049に分類します。みなさんも図書館に行ったら、049の棚を眺めてみてください。島根大学の図書館では、『イグ・ノーベル賞』『生協の白石さん』などがここに分類されています。

おおまかな分類が出来る時はどうでしょう。社会科学系の本で分類不能なのは304、自然科学系であれば404、数学関係なら410.4、化学関係では430.4です。気付かれた方がいるかもしれませんが、04というのが肝です。さあ、図書館でその分類の書架に行ってみましょう。きっと思いがけない本に出会います。



## <シネマ&ブック(6)>

### 真保裕一 ㊄ 織田裕二 ㊄ 佐藤浩市

登場人物を、自分のイメージでキャスティングしながら読むのは楽しいものです。映画化されたとき、思っていたおりの役者さんだったり、キャラクターのイメージどおりだったりすると嬉しくなります。

真保裕一『ホワイトアウト』(2000)では、タフで熱い主人公・富樫が織田裕二にびったりで、ちょっと意外だった佐藤浩市との対決は、手に汗握りました。そして今年公開された『アマルフィ』で、真保&織田&佐藤の3人が帰ってきました。またもや二人で対決することになるとは…これは単なる偶然でしょうか。今も熱い織田さんですが、9年の時を経て大人の落ち着きを感じられます。もうヒラの青島刑事には戻れないのでしょうか。

サラ・ブライトンの美しいソプラノ「Time To Say Goodbye」の歌声と、世界一美しいと言われるアマルフィ海岸の映像…大人の映画ですなぁ。イタリアはホントに素敵です。(A)

## USBメモリの置き忘れにご用心!…引き続きアイデア募集中!

### 卒論・修論がんばれ! こんなアイデアが寄せられました…

- 紐をつけて、反対の端を手首に結び付けておく。
- 紐をつけて、首にかけるようにしておく。
- USBメモリをパソコンにさして、その上に赤いハンカチをかけておく。これからの季節、図書館内は乾燥しているので、ハンカチを乾かすことができる。目立つので忘れない。



情報メディアルーム前の「図書館の声」BOXへ

## USBメモリを忘れないために…

